

住居の外壁材や瓦の耐久性評価をはじめました ►凍結融解試験機をご紹介します

大事な我が家を守りたい、そのお気持ちニッセンケンは寄り添います。

このたび、住居の外壁材や瓦などの耐久性を評価する試験を開始しました。

従来は防災・安全評価事業の一環として、道路標識や避難誘導標識の耐久性を評価してまいりましたが、そのノウハウを活かし、新たに住居設備にも応用いたします。

生活の基礎となる「衣食住」全ての要素で安全品質を確保するための、新たな評価試験に挑戦してまいります。



以下、凍結融解試験機をご紹介します。
主に寒冷・高温環境下での、資材の耐久性等を評価いたします。

試験機概要



装置全景

株式会社マルイ製【MIT-692-1-02】
凍結融解試験機

特徴

- 試料を、寒冷環境から高温環境下に、繰り返しつつ断続的に置くことができます。温度設定は-25.0～+60.0°Cの範囲となっています。

- 水中凍結及び溶解、気中凍結及び融解の状態を再現できます。

- サイクル設定回数は最大 9999 回、運転時間設定は最大 100 時間となります。

- 主に、建築物の外装に用いられる板状の無機質素材等の凍結融解作用に対する抵抗性を観察する目的で用いられます。対応規格は、JIS A 1435「建築用外装材料の凍結融解試験方法」です。

- 規格に限らず、試験機の条件設定により、素材の温冷繰返し環境下での変化観察や耐久性の確認ができます。

- 例えば、寒冷地で外に出しちばなしで使用される幌や横断幕またはプラスチック材料、真夏の海辺で使用するパラソル、業務用大型冷蔵庫に使う資材などに応用できます。

- もちろん従来の道路標識や避難誘導標識の試験につきまして引き続きお受けしています。

試験対象

この他、ご要望に合わせて様々な条件設定をご提案させていただきます。

本件に関するお問い合わせ先 ~ぜひお気軽にお問い合わせください~

東京事業所 立石ラボ 防災・安全評価チーム

TEL: 03-5875-6055 E-mail: bosai_anzen@nissenken.or.jp

〒124-0012 東京都葛飾区立石 4-2-8 ニッセンケン立石ラボ

Nissenken WEB

ニッセンケン

拠点情報は

こちらから

